

2025 年 4 月 1 日

2025 年度新入社員への社長訓示（要約）

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、本日、2025 年度入社式を執り行い、本社地区では新入社員 64 名が出席しました。社長訓示の要旨は以下のとおりです。

当社を取り巻く環境と目指す姿

現代社会は急速に変化し続けています。国際情勢の混迷に加え、国内ではインフレによる操業コストの増加、就労人口の減少や高齢化などの課題が山積しています。一方、技術革新により誕生した人工知能関連のサービスが生活の一部となり、事業においても業務の効率化や新しいビジネスモデルの創出が進んでいます。また、気候変動や資源の枯渇といった環境問題は、企業に対して持続可能な経営を求める声を一層高めています。このように、環境が目まぐるしく変化し、将来の予測が極めて困難な時代においては、柔軟に対応し、挑戦し続けることが重要です。

当社は長期ビジョン「世界の非鉄リーダー」と「2030 年のありたい姿」の実現に向けて、本年度から中期経営計画 2027 をスタートさせます。サステナビリティやデジタルトランスフォーメーション、DE&I を含む人的資本経営など、新たな経営課題に直面していますが、これを変革の機会と捉え、新たな技術やアイデアを積極的に取り入れることで、社員と会社がともに成長していくことを目指します。

新社会人の皆さんには、自分たちが生きるこの時代をどのように切り拓いていくのか、当社の経営や事業はどうあるべきなのか、という観点で物事を考える習慣を身に付ける努力をお願いします。

一方、世の中が変わっても変わらない、変わってはいけないものもあります。

1999 年 9 月の JCO 臨界事故から 25 年が経過しました。皆さんが生まれる前、または生まれた頃の出来事です。この事故についてよく知らない人も多いでしょう。しかし、当社に入社した以上、JCO 臨界事故を自らの会社の出来事として、しっかり見つめてください。我々は事故の反省と教訓をふまえ、「忘れてしまいたいことがある、しかし忘れてはならないことがある」という言葉を胸に、この 25 年間を歩んできました。この事故は当社経営の大きな転換点であり、事故の教訓は当社の経営判断の重要な基準となっています。環境が変化する中であっても、決して風化させてはならないものもあることを覚えておいてください。

社会人としてスタートする皆さんにお伝えしたいこと

1. 「現場に学ぶ」

当社は「ものづくり」の会社であり、現場はその最前線です。新入社員研修で現場を訪れる際は、事務系・技術系問わず、現場のものづくりの雰囲気を感じ、学んでください。また、集合研修終了後、または近

い将来、総合職の多くが現場に配属されることでしょう。そこでは、仕事の基礎を確実に身につけることはもちろん、意識的に現場に足を運ぶことを心がけてください。机上のみならず、自らの五感を通じて吸収することが重要です。日々感じたことや経験の積み重ねが、将来にわたっての財産となることを忘れないでください。

2. 「専門性を高める」

皆さんに期待しているのは創造的な仕事であり、組織を牽引する役割ですが、一足飛びにはいきません。組織がパフォーマンスを発揮する土台として、一人ひとりが高い専門性を持つことが求められます。担当する職務、その分野において、社内だけではなく世界で通用する力量をつけていただきたい。我々の戦うフィールドは世界であり、世界屈指の企業や専門家です。彼等と伍していくには、互角以上の専門知識が不可欠です。そのためには、常に周囲の状況・情報収集を怠らず、自身に期待されていることを把握し、学び続けることを強く意識してください。我々は自律的に成長し続ける人を常に支援します。

3. 「コミュニケーションを大切にする」

会社は多様な個の集合体です。そのパフォーマンスを最大化するためには、個人の力を足し合わせるだけではなく、異なるバックグラウンドや能力を尊重し、互いが協調して目標達成に向かう組織力が求められます。組織力を最大化し、発揮するための基本はコミュニケーションです。その中でも最も大切なことは、人の話をよく聴くことです。相手の言葉に耳を傾け、疑問や意見を持ち、仲間と自由闊達に議論をしていただきたい。また、良い仕事をするには、仕事に関わる「人」と誠実に向き合い、仲間との信頼関係を築くことが不可欠です。コミュニケーションは質も重要ですが、量がより大切です。初めて接する方々ばかりで、緊張もあるかと思いますが、勇気を持って自ら発信することを心がけてください。

住友の事業精神に「時勢の変遷理財の得失を計り、弛張興廃することあるべし」という言葉があります。これは「現状に安住するのではなく、時代の移り変わりによる社会のニーズの動向を鋭敏にとらえ、新しく事業を興し、あるいは廃止するなど、積極進取の姿勢が重要である」ということを意味しています。

現状維持は衰退と同じです。現状に甘んずることなく、正しい危機感を持たなければ、いずれ致命的な問題に直面します。当社は430年に及ぶ長い歴史のなかで、幾度となく存亡の危機に見舞われましたが、そのたびに先人たちの知恵と努力で乗り切り、発展を成し遂げてきました。いつの時代も変化への適応は重要ですが、世界の潮流を見極めることは容易ではありません。これから世界が、そして当社が直面する課題は、これまで経験したことのない、様々な事象が複雑に絡み合った非常に難しいものになります。だからこそ、皆さんの柔軟かつ新たな発想や視点、行動力が必要となります。解決すべき課題は数多くありますが、ともに手を携えて頑張っていきましょう。

(ご参考)

2025年4月1日付 新入社員数：120名（当社単体合計）

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705